**別紙３**

***（提出に当たり、本ページは削除してください。）***

スマート農業技術の開発・供給に関する事業

応募様式（研究課題提案書）

（記載事例及び留意事項を含む）

|  |
| --- |
| ○　所定の様式（Word）を用い、様式の改変は絶対に行わないでください。  ○　文字数に制限がある項目は字数を厳守してください。制限の無い項目においても、ページ数が過多にならないよう、簡潔明瞭で理解しやすい記載を心がけてください。  ○　該当しない様式は、削除して提出してください。  ○　原則、**MSゴシック**で記載してください。  ○　本事業での研究項目毎の呼称は、一番大きな区分を中課題（１、２・・・）とし、以下を小課題（（１）、（２）・・・）、と称します。  **本資料の青文字及び不要なページ等を削除して、研究課題提案書として提出してください。**作成した様式は、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）に必要事項を入力後、忘れずにアップロードしてください。 |

***（提出に当たり、本ページは削除してください。）***

***（提出に当たり、本ページは削除してください。）***

○　研究課題提案書は、以下の構成となっています。

【必須】となっている様式は必ず提出してください。

【該当研究課題のみ】となっている様式は該当研究課題のみ提出してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **「スマート農業技術の開発・供給に関する事業」** | | |
| ・様式 | 研究課題提案書 | 【必須】 |
| ・別記様式１ | 参画機関の知的財産への取組状況等 | 【必須】 |
| ・別記様式２ | 情報管理実施体制について | 【必須】 |
| ・別記様式３ | 研究管理運営機関を活用する理由書 | 【該当研究課題のみ】 |
| ・別記様式４ | 研究支援者の情報等 | 【該当研究課題のみ】 |
| ・別記様式５ | データマネジメントプラン  ※「農業分野におけるＡＩ・データに関する契約ガイドライン」の契約の対象か否かを含む。 | 【該当研究課題のみ】 |
| ・別記様式６ | オープンＡＰＩの要件化に係る確認事項 | 【該当研究課題のみ】 |
| ・別記様式７ | 研究活動の不正行為防止のための対応 | 【必須】 |

○　研究課題提案書作成に当たっては、様式内に青文字で記載している「記載事例」及び「注釈・留意事項」に沿って作成してください。

○　本事業への応募は全て「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」で行います。必要な様式を全てe-Radシステムにて提出してください。（e-Radシステムの詳細は公募要領の「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）による応募手続きについて」をご参照ください。）

***（提出に当たり、本ページは削除してください。）***

**研究課題提案書**

応募：令和○年○月○日

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **重点課題対応型研究開発（民間事業者対応型）** | | | |
| **公募分野** | **営農類型等** | | **品目** | | **農作業** | |
| 果樹作 | | りんご | | 収穫・運搬 | |
| **技術** | | | | | |
| 自動収穫機（日本なしほか）や台車ロボット | | | | | |
| **研究期間** | 令和７年度～令和○年度　（○年間） | | | | | |
| **研究開発等を行う**  **農業機械等の名称** | 自動収穫ロボット | | | | | |
| **研究課題名** | ○○○○○の自動収穫ロボットによる収穫作業の省力化に係る研究開発 | | | | | |
| **研究グループ** | **研究グループ（コンソーシアム）名** | ○○○○自動収穫ロボット研究開発コンソーシアム | | | | |
|  | **名称** | | | **役割種別** | **認定等計画** |
| **代表機関（応募者）** | 株式会社○○○○ | | | 【社】 | ○ |
| **共同研究機関** | 農事組合法人○○○○ | | | 【ほ】【農】 | ◎ |
| ○○○○県果樹試験場 | | | 【ほ】 |  |
| **開発・供給支援機関** | ○○○○農業協同組合 | | |  |  |
|  | | |  |  |
| **研究管理運営機関** | ○○○○合同会社 | | |  |  |
| **協力機関** | | ○○株式会社 | | |  |  |
|  | | |  |  |
| **研究代表者**  **氏名** | **フリガナ** | セイケン　タロウ | | | | |
| **漢字等** | 生研　太郎 | | | | |
| **研究経費** | **年度** | **研究経費（千円）** | | | | |
| **委託費** | | （委託費のうち農研機構分） | | **自己負担** |
| 令和７年度 | ○○○○ | | ○○○○ | | ○○○○ |
| 令和８年度 | ○○○○ | | ○○○○ | | ○○○○ |
| 令和９年度 | ○○○○ | | ○○○○ | | ○○○○ |
| 総計 | ○○○○ | | ○○○○ | | ○○○○ |

スマート農業技術活用促進法における開発供給実施計画の開発内容

|  |
| --- |
| 収穫適期となる○○○○の果実をAIにより自動判別して、 独自のロボットアーム先端の作業部位を用いて自動で収穫する技術開発 |

※　認定を受けた又は認定を受けるために事前相談等を実施している計画のうち、開発に係る部分を記載し、本予算事業で実施する部分に下線を引くこと。

|  |
| --- |
| 有・無 |

上記認定を受けていない場合、事前相談の有無：

研究課題提案書

【注釈・留意事項】

○　「スマート農業技術活用促進法における開発供給実施計画の開発内容」については２行程度以内で記載してください。

〇　「公募分野」の欄については、公募要領別紙１の別表から転記して下さい。

○　「品目」の欄については、開発するスマート農業技術等が対象とする品目を明記してください。

〇　研究機関が開発・供給支援機関の取組も併せて実施しようとする際、取組内容や人件費等の経費が切り分けられる場合は開発供給支援機関を兼ねることができます（ただし、研究グループの構成上、２機関以上で構成されている必要があります。）。

○　役割種別［凡例］

【社】：社会実装を担う者

【ほ】：研究用ほ場を有する者

【農】：農業者等

【金】：地域金融機関等

【コ】：研究支援者

○ 認定等計画：

○：スマート農業技術活用促進法における開発供給実施計画の認定を受けた等の当該計画の申請者

◎：スマート農業技術活用促進法における開発供給実施計画の認定を受けた等の当該計画の申請者（代表者）

# **１　研究課題概要図**

１　研究課題概要図

【注釈・留意事項】

○　研究課題の全体像が体系的に分かるように、イラスト・写真・図表などを用いて、概要資料を作成してください。なお、必ずＡ４用紙１枚にまとめてください。

<具備すべき項目>

・研究の達成目標（解決すべき課題と研究期間終了時の明確な目標）

・研究内容の概要

・参画研究機関の役割と連携関係

・本研究により想定される社会実装・実用化の内容及びその時期

・実用化されることによる波及効果、国民生活等への貢献

# **２　研究体制及び研究経費**

## **（１）研究グループの構成（２　審査項目（１）ク　関係）**

### **ア　研究グループの構成図**

２　研究体制（１）ア　研究グループの構成図

【注釈・留意事項】

○　参画する研究機関等（協力機関含む）が、どのような関係性をもって研究を実施するのか図で記載してください。

### **イ　応募者の情報等**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **研究代表者** | **氏名：フリガナ** | セイケン　タロウ |
| **氏名：漢字等** | 生研　太郎 |
| **住所** | 〒 |
| **電話番号** |  |
| **E-mail** |  |
| **部局** |  |
| **職名** |  |
| **経理事務担当者** | **氏名** |  |
| **部局** |  |
| **電話番号** |  |
| **E-mail** |  |
| **研究管理運営機関**  **責任者** | **氏名：フリガナ** |  |
| **氏名：漢字等** |  |
| **住所** |  |
| **電話番号** |  |
| **E-mail** |  |
| **部局研** |  |
| **職名** |  |
| **研究管理運営機関**  **経理事務担当者** | **氏名** |  |
| **部局** |  |
| **電話番号** |  |
| **E-mail** |  |

イ　応募者の情報等

【注釈・留意事項】

○　各項目には応募時点のものを記載としますが、今後の機関名の変更や市町村合併等による所在地の変更、研究代表者の変更等が既に決まっているものがあれば、その変更時期及び内容を括弧書きで記載してください。

○　電話番号及びE-mailアドレスは半角文字で記載してください。

○　研究管理運営機関の欄は、当該機関を活用する場合のみ記載してください（活用しない場合は削除）。

**（２）役割分担（２　審査項目（１）ク　関係）**

### **ア****研究機関別の研究計画**

#### （ア）研究グループ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 機関名  （支所等名まで記載） | 住所 | 試験研究内容 |
| 応募者（代表機関） | （国研）○○機構○研究センター | ○○県・・・ | ・・・の解析や・・・・・・・・・技術の開発を実施する。  開発された・・・・・・技術等の研究成果等を参画機関に提供するとともに、ウェブサイト等により全国に公開する。  委託費計：　　　　　円  自己資金計：　　　　円 |
| 共同研究機関 | ○○県○○試験場○○支所 | ○○県・・・ | ○○大学が解析した・・・・・・・・・・・情報を基に・・・・・・・・・・・・・評価手法を開発するとともに、・・・・・・・・・の現地調査を行い、・・・・・・・技術の開発も併せて実施する。  委託費計：　　　　　円  自己資金計：　　　　円 |
| ○○県○○研究センター |  | 各参画機関の研究情報、評価手法及び試作品の改良を踏まえて、・・・・・・・・・・マニュアルを作成して配布する。  委託費計：　　　　　円  自己資金計：　　　　円 |
| ○○大学○○学部 |  | 本研究の基盤となる・・・・・・・・・の解析を実施する、また、その成果を踏まえた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・の解明を行う。解析の結果、明らかになった・・・・・・・・・情報を他の参画機関に提供し、研究課題の推進を図る。  委託費計：　　　　　円  自己資金計：　　　　円 |
| （独）○○機構○研究所 |  | ○○大学、○○県○○試験場○○支所の解析した情報を基に○○株式会社と共同で・・・・・・・・の試作を実施する。プロトタイプ（試作品）を作成し、使用者の意見を聞きながら改良を加える。  委託費計：　　　　　円  自己資金計：　　　　円 |
| ○○株式会社  ※農林漁業者の場合：  畜産業　○○太郎 |  | ○○機構○研究所と共同で・・・・・・・の試作を実施する。プロトタイプを作成し、使用者の意見を聞きながら改良を加えて、実用化を図る。  委託費計：　　　　　円  自己資金計：　　　　円 |
| 開発・供給支援機関 | ○○県○○普及センター | ○○県・・・ | 代表機関及び共同研究機関で試作された・・・・・のプロトタイプの実用化のための試験や普及のための支援を実施する。  委託費計：　　　　　円 |
| 研究管理運営機関 | ○○県○○部○○課 | ○○県・・・ | ○○○○ |

#### （イ）協力機関

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 機関名  （支所等名まで記載） | 住所 | 協力内容 |
| 協力機関 | ○○県○○普及センター | ○○県・・・ | 代表機関及び共同研究機関で試作された・・・・・のプロトタイプの実用化のための試験や普及のための支援を実施する。  ※　研究グループ外の協力機関のため委託費計上なし。 |

（２）役割分担

ア　研究機関別の研究計画

【注釈・留意事項】

○　研究管理運営機関、協力機関がない場合は、行を削除してください。

○　なお、記載例のとおりですが、研究グループ外の協力機関は委託費計上できません。

### **イ　研究代表者及び研究分担者等**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ・氏名（年齢）  ・研究者番号 | ・所属機関  ・部局  ・職名 | ・現在の専門  ・学位  ・役割分担 | 令和７年度研究経費（千円）のうち  ・直接経費  ・間接経費 | エフォート（％） |
| 研究代表者 |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |
|  |  |
| 研究分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |
|  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |
|  |  |
| 開発・供給支援機関に属する者 |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |
|  |  |
| 計　　00名 | | | 令和７年度  研究経費合計 |  |  |

（２）役割分担

イ　研究代表者及び研究分担者等

【注釈・留意事項】

○ 中課題責任者には○、小課題責任者には△を、該当する氏名の前に記載してください。研究計画の遂行に関し、名目的に名前を連ねるなど、実質的な責任を負わない者は、研究分担者として加えることができないので注意してください。

○　研究経費には上段に直接経費を、下段に間接経費を記載してください。

○　エフォート（研究専従率）は、当該研究者の全仕事時間に占める本研究課題に充てる時間の割合（小数点以下を四捨五入した整数値）を記載してください。

## **（３）他の研究費資金の応募・受入等の状況及びエフォート（研究者別）（２　審査項目（１）ク　関係）**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名＜研究代表者＞ | 所属機関 |
| ○○○○ | ○○○○ |

**ア　応募中の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名  （研究期間・配分機関等名） | 研究課題名  （研究代表者氏名） | 代表・分担の別 | 令和７年度の  研究経費  （期間全体の額）  （千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| 【本応募研究課題】  （R ～R　・　　 ） | （　　） | 代表 | （総額　千円） |  |  |
| （R ～R　・　　 ） | （　　） | 分担 | （総額　千円） |  |  |

**イ　受入予定の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名  （研究期間・配分機関等名） | 研究課題名  （研究代表者氏名） | 代表・分担の別 | 令和７年度の  研究経費  （期間全体の額）  (千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| （R ～R　・　　 ） | （　　） |  | （総額　千円） |  |  |
| （R ～R　・　　 ） | （　　） |  | （総額　千円） |  |  |

**ウ　現在受け入れている研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名  （研究期間・配分機関等名） | 研究課題名  （研究代表者氏名） | 代表・分担の別 | 令和７年度の  研究経費  （期間全体の額）  (千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| （R ～R　・　　 ） | （　　） |  | （総額　千円） |  |  |
| （R ～R　・　　） | （　　） |  | （総額　千円） |  |  |

**エ　その他の活動　　　エフォート：　　　％**

**オ　他機関における役職**

|  |  |
| --- | --- |
| 所属機関名 | 役職名 |
| ○○大学 | 名誉教授 |
| ○○株式会社 | 顧問 |
|  |  |

ア　応募中の研究費～エ　その他の活動

【注釈・留意事項】

※　本応募課題の研究代表者の応募時点における「ア　応募中の研究費」、「イ　受入予定の研究費」、「ウ現在受け入れている研究費」、「エ　その他の活動」及び研究分担者の応募時点における「オ　現在受け入れている研究費」について、次の点に留意し、記入してください。また、「ア　応募中の研究費」、「イ　受入予定の研究費」、「ウ　現在受け入れている研究費」欄には、本事業だけでなく他の研究費についても記入してください。

○　「資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）」

研究費の名称、研究期間、配分機関等名を記入してください。

　○　「研究課題名（研究代表者氏名）」

　　　研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参画している場合は、括弧書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。

　○　「代表・分担の別」

　　　当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。

　○　「令和７年度の研究経費（期間全体の額）（千円）」

　　　令和７年度に本人が受け入れ、自ら使用する研究費の直接経費の額（応募中のものは応募額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額（予定額）を下段に括弧書きで記入してください。

また、本人が研究分担者等の場合は、令和７年度に本人が受け入れ、自ら使用する分担金の額（予定額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の額（予定額）を下段に括弧書きで記入してください（分担金が配分されない場合は、それぞれ「０」を記入してください）。

○　「エフォート」

　本欄に記入する、「ア　応募中の研究費」、「イ　受入予定の研究費」、「ウ　現在受け入れている研究費」及び「エ　その他の活動」の係る全仕事時間を100％として、そのうちそれぞれの研究活動等の実施に必要となる時間の配分率（％）を記入してください。「全仕事時間」とは、研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。

　また、競争的資金制度により研究を行う場合には、当該研究活動に係るエフォートを必ず記載してください。本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォートを決定し、e-Radに登録することとなります。

○　「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」

　応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点および他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞って明確に記入してください。併せて、研究期間全体の直接経費の総額（予定額）を記入してください。

オ　他機関における役職

【注釈・留意事項】

○　研究代表者が申請時に記載する役職以外で、他機関における役職がある場合は、機関名・役職（兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む。）に関する情報を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名＜研究分担者＞ | 所属機関 |
| ○○○○ | ○○○○ |

**現在受け入れている研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名  （研究期間・配分機関等名） | 研究課題名  （研究代表者氏名） | 代表・分担の別 | 令和７年度の  研究経費  （期間全体の額）  (千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| （R ～R　・　　 ） | （　　） |  | （総額　千円） |  |  |
| （R ～R　・　　 ） | （　　） |  | （総額　千円） |  |  |

（３）他の研究資金の応募・受入等の状況及びエフォート（研究者別）

【注釈・留意事項】

○　必要に応じて、研究分担者の表・ページを追加して記載してください。

**（４）これまでに受けた研究費とその成果（研究代表者）（２　審査項目（１）ク　関係）**

|  |  |
| --- | --- |
| 資金制度名 |  |
| 期間（年度） | ○○年度～○○年度 |
| 研究課題名 |  |
| 研究代表者又は研究分担者の別 |  |
| 研究経費（直接経費） | ○○○○○千円 |
| 研究成果 |  |
| 中間評価結果 |  |
| 事後評価結果 |  |

（４）　これまでに受けた研究費とその成果

【注釈・留意事項】

○　研究代表者が、これまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、それぞれの研究費毎に、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価結果を簡潔に記述してください。

○　各種項目は当該資金制度に応じて適宜読み替えてください。

○　本研究課題の立案に生かされている研究費等が複数ある場合は、研究費ごとに表を追加して記載してください。

## **（５）各年度別本研究経費内訳（２　審査項目（１）キ　関係）**

### ア　研究グループ（コンソーシアム）全体

**【全体研究費】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究グループ（コンソーシアム）全体**  **（全体研究費）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 一般管理費（上記経費の15％以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費＋一般管理費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

民間企業等でマッチングファンド方式を適用する場合

|  |  |
| --- | --- |
| 要　件　等 | ○印を入れる |
| マッチングファンド方式を適用する  **（公募要領７（３）イ参照）** |  |

研究グループのうち、マッチングファンドの自己負担の対象とならない民間企業等とその理由

|  |  |
| --- | --- |
| 参画民間企業等 | 理　　由 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**【内訳：①スマート農業技術に係る研究開発】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究グループ全体（①スマート農業技術に係る研究開発）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 一般管理費（上記経費の15％以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費＋一般管理費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

**【内訳：②新たな栽培方法の確立に係る研究】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究グループ全体（②新たな栽培方法の確立に係る研究）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 一般管理費（上記経費の15％以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費＋一般管理費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

### イ　研究機関別内訳

|  |
| --- |
| 機関名＜応募者（代表機関）＞ |
| ○○○○ |

**【全体研究費】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜応募者（代表機関）：○○○○＞**  **（全体研究費）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

**【内訳：①　スマート農業技術に係る研究開発】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜応募者（代表機関）：○○○○＞**  **（①　スマート農業技術に係る研究開発）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

**【内訳：②　新たな栽培方法の確立に係る研究】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜応募者（代表機関）：○○○○＞**  **（②　新たな栽培方法の確立に係る研究）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 機関名＜共同研究機関＞ |
| ○○○○ |

**【全体研究費】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜共同研究機関：○○○○＞**  **（全体研究費）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

**【内訳：①　スマート農業技術に係る研究開発】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜共同研究機関：○○○○＞**  **（①　スマート農業技術に係る研究開発）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

**【内訳：②　新たな栽培方法の確立に係る研究】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜共同研究機関：○○○○＞**  **（②　新たな栽培方法の確立に係る研究）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 機関名＜開発・供給支援機関＞ |
| ○○○○ |

**【全体研究費】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜開発・供給支援機関：○○○○＞**  **（全体研究費）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

**【内訳：①　スマート農業技術に係る研究開発】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜開発・供給支援機関：○○○○＞**  **（①　スマート農業技術に係る研究開発）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

**【内訳：②　新たな栽培方法の確立に係る研究】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜開発・供給支援機関：○○○○＞**  **（②　新たな栽培方法の確立に係る研究）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋間接経費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 機関名＜研究管理運営機関＞ |
| ○○○○ |

**【全体研究費】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜研究管理運営機関：○○○○＞**  **（全体研究費）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 一般管理費（上記経費の15％以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋一般管理費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

**【内訳：①　スマート農業技術に係る研究開発】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜研究管理運営機関：○○○○＞**  **（①　スマート農業技術に係る研究開発）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 一般管理費（上記経費の15％以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋一般管理費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

**【内訳：②　新たな栽培方法の確立に係る研究】**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜研究管理運営機関：○○○○＞**  **（②　新たな栽培方法の確立に係る研究）** | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |  |
| 直接経費計 | |  |  |  |  |
| 一般管理費（上記経費の15％以内） | | |  |  |  |  |
| 委託費合計  （直接経費＋一般管理費） | | |  |  |  |  |
| 自己資金（マッチングファンド） | | |  |  |  |  |

## **（５）　各年度別本研究経費内訳**

【注釈・留意事項】

○　表がページをまたがる場合は、改ページをしてください。

○　公募要領別記（５）に記載の研究費の上限に留意の上、記載してください。なお、研究種目ごと以下のとおり研究型が分かれております。

①　スマート農業技術に係る研究開発

②　新たな栽培方法の確立に係る研究

○　上記②については取り組むことが必須ではなく、①で研究開発されるスマート農業技術の効果を向上することが期待される栽培方法であり、有効な技術内容が想定される場合に限り、研究計画に含めることができ、公募要領別記（５）で②に係る研究費の上限が定められています。

○　研究グループ（コンソーシアム）に参画する機関で、実際に研究を実施する機関（代表機関及び共同研究機関）と開発・供給支援機関は、別々の表に記載してください。実際に研究を実施する機関（代表機関及び共同研究機関）と開発・供給支援機関は、契約後に「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」に基づく「研究費の管理・監査体制自己点検（調査票）」を提出していただきます。詳細は公募要領８の（８）アを参照して下さい。

○　委託費の内訳は、公募要領別紙５「府省共通経費取扱区分表」に従って記載してください。

○　各所要額（人件費・謝金を除く）は、消費税（10％）込みで記載してください。

○　設備備品は、原則、初年度に計上するよう計画を立ててください。園芸施設や畜舎など、一般的な建物や構築物の取得は認められません。

○　設備備品を導入する際には、購入、リース、レンタル等の手段から、委託研究経費の節減等、経済性の観点から最適なものを選択してください。

また、受託者の負担により整備すべき机、椅子、書庫等の什器、パソコン、デジカメ又はその周辺機器など、汎用性の高い事務機器等の購入は原則として認められません。

ただし、

・委託業務で購入した研究用機器の制御装置や解析装置として付属されているパソコン、プリンタ等

・委託業務で収集したデータの保存、事業遂行に必要な各種画像データの保存・解析等のために専用で使用するパソコン・デジカメ等

・調査現場で収集したデータの保存、事業遂行に必要な各種画像データの保存に必要なパソコン周辺機器等

については、委託業務でのみ使用することを前提に、理由書の事前提出により、その必要性を生研支援センターが認めた場合に限り計上できます。

○　コピー用紙、トナー、ＵＳＢメモリ、ＨＤＤ、WindowsなどのＯＳ、フラットファイル、文房具、作業着、食品用ラップ、辞書、定期刊行物といった汎用性の高い消耗品の購入は原則として認められません。ただし、委託事業でのみ使用することを前提に、理由書の事前提出により、その必要性を生研支援センターが認めた場合に限り、委託業務で使用する最低限の必要数に限り計上できます。

○　外国旅費及び外国人の招へい旅費・滞在費等の経費の支出は原則認めていません。外国への出張又は外国人の招へいが研究に必要な場合は、その必要性や出張先を４（２）実施内容（中課題別）に具体的に記載してください。また、本項目（５）の「３．旅費」欄に外国旅費の見積額を記載してください（記載例：（うち外国旅費○○○））。

　　研究管理運営機関は外国旅費及び外国招へい旅費・滞在費を計上できません。

○　間接経費は、研究機関等が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費であり、管理部門、研究部門、その他関連事業部門に係る施設の維持運営経費等の実施を支えるための経費であって、直接経費として充当すべきもの以外の経費です。間接経費は、直接経費の30％に相当する額以内で計上してください。なお、所要額については管理部門等とあらかじめよく相談の上、計上してください。

　　特許等の本事業で得られた成果を権利化するために必要な経費（特許出願、出願審査請求、補正、審判等に係る経費）については、間接経費での支出が可能です。ただし、登録、維持に関わる費用は受託者負担となります。

○　一般管理費は、研究管理運営業務の遂行に直接関連していないが、当該業務推進のために必要な事務費、光熱水料、燃料費、通信運搬費、租税公課、事務職員の人件費及び補助職員賃金等であって、直接経費の15％を上回らない範囲で必要額の計上が認められます。

（５）各年度別本研究経費内訳

ア　研究グループ全体（コンソーシアム）

【全体研究費】

【注釈・留意事項】

○　マッチングファンドの自己負担の対象とならない民間企業等がある場合、当該名称と理由を記載してください。

イ　研究機関別内訳

【注釈・留意事項】

○　研究を実施しない研究管理運営機関を設置しない場合は表を削除してください。

（５）　各年度別本研究経費内訳

②　新たな栽培方法の確立に係る研究

【注釈・留意事項】

○　施設整備（園芸施設や畜舎等の基礎が必要な構造物の構築や既存施設の大規模な改造等）、圃場整備（圃場の造成や区画整備、園地での道路敷設等の工事等）の経費は計上出来ません。また、一般的な建物や建築物の取得は対象外となります。

○　ただし、施設や圃場の整備に当たり、研究実施に必要不可欠で最小限の改良のみ、委託費で計上が可能です。計上可能な経費の例は以下のとおりです。

① 軽微な圃場整備における、建設機械のレンタル料金、オペレーターの賃金

② 圃場、園芸施設、畜舎におけるスマート農業機械の動線確保等に必要なカメラ、センサー、レール等の設置

③ 機械の導入を可能とする圃場や園地の改良に必要な資材

**（６）本研究資金で取得予定の農業機械や機器等（２　審査項目（１）キ　関係）**

|  |  |
| --- | --- |
| 目的 | ○○○○○ |
| 取得する農業機械や機器等を使用する予定の課題名 | 【記載例】  中課題：１　○○○（農業機械・ソフトウェア等）○○○の開発  小課題：（３）○○○の試作 |
| 取得する農業機械や機器等の概要  （取得価格と方法） | １．ロボットトラクター（○○○社製）（リースで取得予定）  （取得予定価格：00,000千円、取得予定年月：令和○年○月）  ２．自動運搬車両（○○○社製）（購入で取得予定）  （取得予定価格：00,000千円、取得予定年月：令和○年○月） |

**（７）類似の研究課題のほか「スマート農業実証プロジェクト」でこれまでに取得した農業機械や機器等**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究事業名（実施年度） | ○○○○○○○○○○事業（令和○年度） |
| 研究課題の名称 | ○○○○○○○○○○○○○○○の開発 |
| 取得した農業機械や機器等と現在の使用状況 | １．ロボットトラクター（○○○社製）（現在事業で使用中）  （購入年月日：令和○年○月○日）  ２．自動運搬車両（○○○社製）（現在事業で使用中）  （購入年月日：令和○年○月○日） |

【注釈・留意事項】

○　（６）及び（７）について、該当しない場合は表を削除してください。

○　（７）について、研究事業毎ごとに情報を整理し、必要に応じて表を追加してください。

# **３　研究課題内容**

## **研究の概要　（２　審査項目（３）ア・イ　関係）**

○○生産における10 aあたりの××・△△作業は○○時間であり、年間労働時間の○%を占めている。また、その作業時期が集中していることから、作業人員や後継者の確保が困難であり、省力化・省人化のための△△ロボットの開発が期待されている。△△ロボット開発においては、急峻な山間地に立地することが多い○○園地での運用が可能なモビリティと、葉で果柄が隠れやすい○○の特性に合わせたロボティクス開発とともに、生産現場への導入が可能な価格内に収めることが求められる。本研究では、これまで申請者らが開発した自動追従型台車ロボットに廉価な双腕型ロボットアームをアドオンし、模倣学習を組み合わせることで、1個○秒で△△することが可能な△△ロボットの開発を行う。本研究の成果は、年々生産量が低下している○○生産量を維持・増加させ、本邦における○○○生産の振興に寄与するものである。

## **研究の背景**

### **ア　現状と課題（対象分野の栽培及び周辺技術の現状と課題）(２　審査項目（３）ア・イ　関係)**

○○の本邦における年間生産額は○○○億円と、総農産物生産額の約○%を占める主要作目の一つであり、特に○○○○は生産額の約○○%を占める主要品目である（現状の詳細は以下の表の通り）。○○○○生産には、温暖で日当たりが良く、水はけの良い土地が好まれることから、～～～や～～の山間部での生産が盛んであり、○○○○生産園地の約○%が斜度15度以上の山間地である（令和6年度農林水産省○○部会資料より）。そのため、農業機械の利活用が困難であり、人手に依存した農作業が未だ多く存在するため労働負荷が高く、高齢に伴う離農や後継者への園地継承の難航における潜在的要因の一つとなっている。また、××や△△作業など、特定の時期に作業が集中するため、生産者間での人繰りや季節労働者の確保も困難であり、省力化・省人化のための技術開発は喫緊の課題である。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**対象作目の栽培の現状及び提案技術の適用範囲**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **主な対象品目の全体概要** | **提案する技術が適用可能な範囲（％）** |
| **品目** | ○○ | ― |
| **生産額、産出額若しくは出荷額** | ○○○○○○ | ○○○○○（○％） |
| **参考情報（経営体数、作付（栽培、経営）面積、飼養頭数、生産量、出荷量、産出量等）** | ○○○○○ | ○○○○○（○％） |
| **主な産地** | ○○県、○○県、○○県 | ○○県 |
| **作型若しくは飼養形態** | ○○○○○○ | ○○○○○○ |
| **上記の根拠** | ○○の本邦における年間生産額は○○億円と、総農産物生産額の約○○%を占める主要作目の一つであり、特に○○○○は生産額の約○○%を占める主要品目である（令和○年「生産農業所得統計」）。本研究で開発を行う○○ロボットは○○○○生産のうち経営体数ベースで○％以上を占める（令和○年度農林水産省○○部会資料より）○○作型及び○○作型を対象とし、当該作型特有の作業である○○作業を自動化する（機械の大きさの問題から、✕✕作型には現時点では対応していない）。すなわち、本技術が適用可能な範囲は経営体数ベースでは○○経営体（○％）、年間生産量ベースでは○ｔ（○％）と試算される。 | |

【注釈・留意事項】

○ ３ページ以内に収まるように、（１）（２）を記載してください。

○ （１）は、本研究の概要を10行程度で記載してください。

○ （２）は、本研究の背景について、記載してください。ア、イともに客観的かつ定量的に記載してください。

○　「対象作目の栽培の現状及び提案技術の適用範囲」は、開発する技術が対象とする品目の生産状況全体のうち、当該技術が適用可能な範囲を定量的に記載いただくことを目的としています。

・「品目」は、開発を行う技術が適用可能な主な品目（水稲、だいこん、かんきつ、肥育牛など）を１つ記載してください（また、右列の（○％）については、分子＝適用可能なもの／分母＝品目全体の生産概況　を記載してください。）。

・「生産額、産出額若しくは出荷額」は、開発する技術が対象とする品目の、生産額、産出額若しくは出荷額のうち、実際に技術が適用できる範囲（＋割合）の数値を記載してください。

・「経営体数、作付（栽培、経営）面積、飼養頭数、生産量、出荷量、産出量等」は、開発する技術が対象とする品目の経営体数、作付（栽培、経営）面積、飼養頭数、生産量、出荷量、産出量等のうち、実際に技術が適用できる範囲（＋割合）の数値を可能な範囲で記載してください。

・「主な産地」は、対象とする品目の主要産地（面積ベース上位３都道府県）を記載してください。なお、右列には提案する技術が適用可能な都道府県を記載してください。

・「作型若しくは飼養形態」については、左列には対象とする品目の主な作型若しくは飼養形態（例えば、露地（トンネル栽培やマルチ栽培、マルドリ栽培・・・）、施設（加温促成栽培や土耕、ハイワイヤー誘引栽培・・・）、放牧、フリーストールなど）、右列にはそのうち提案する技術が適用可能なものを記載してください。

・「上記の根拠」は、「品目」～「作型若しくは飼養形態」で記載した数値等の根拠について具体的に記載してください。

* 農作業共通で応募する場合は主に想定している品目について記載してください。

**慣行作業の全工程のうち開発する技術の適用範囲**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **【慣行の作業工程】** | | | **今回開発する**  **技術の適用範囲** |
| **農作業の類型** | **詳細の作業工程** | **総労働時間/10a**  **（必要人数×労働時間/10a/人）** |  |
| 【開発対象】  選別、調製及び  出荷 | 準備（○○の搬入等） | ○○分（○人×○時間/10a/人） | ✕ |
| 準備（○○○の準備） | ○○分（○人×○時間/10a/人） | ✕ |
| 選果（○○○の確認） | ○○分（○人×○時間/10a/人） | ○ |
| 選果（○○の測定） | ○○分（○人×○時間/10a/人） | ○ |
| 選果（○○工程） | ○○分（○人×○時間/10a/人） | ✕ |
| ○○ | ○○分（○人×○時間/10a/人） | ✕ |
| ○○ | ○○分（○人×○時間/10a/人） | ✕ |
| **上記農作業の総労働時間の合計** | |  |  |
| **（すべての農作業の総労働時間の総計）** | |  |  |
| **上記の根拠** | 本研究については、○○○○生産の作業のうち○％の労働時間の割合を占める○○作業の省力化を目的としたものである。実際の○○作業の工程としては①○○○、②○○○があり、それらにかかる労働時間はそれぞれ10a当たり○○時間、○○時間の計○○○時間である。本研究では上記のうち②○○○を対象とし、その労働時間削減効果は○時間（○％）である。 | | |

【注釈・留意事項】

○　「慣行作業の全工程のうち開発する技術の適用範囲」は、開発対象となる農作業の類型の全作業工程のうち、開発を行う技術がどの工程に適用可能かを記載する項目です。

* 「農作業の類型」は、開発供給実施計画で申請（予定）している農作業の類型を記載してください。

○　「上記の根拠」は総労働時間/10aの算出根拠や技術の適用可否の根拠について、分かりやすく記載してください。

※　開発供給実施計画で申請（予定）している営農類型が複数ある場合は主に想定している営農類型として記載してください。

※　複数の農作業の類型を対象としている場合は全ての農作業の類型について記載してください。

※　農作業共通で応募している場合は主に想定している品目、作型若しくは飼養形態の作業工程を記載してください。

### **イ　課題に対する国内外の取組や生産者のニーズ（２　審査項目（１）ア・ウ・エ　関係）**

これまで○○を解決するために、○○らによる○○や、○○らによる○○の開発が行われてきた。しかし、いずれの研究においても○○を活用した○○な○○であり、○○な条件下においては動作するものの、○○や○○の条件下においては十分な性能を発揮することが難しく、省力化効果を望む経営体への導入が進んでいない（参照）。また、○○を開発する上で必要となる○○や○○などの部材は高価であるため、製品製造コストが高騰してしまう点も、普及における課題である。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**既存・類似技術に対する本研究の優位性**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **既存・類似技術** | | | | **本研究**  **（既存・類似技術に対して優位性がある点は赤字で記載）** |
| ○○**（人力）** | ○○○**機**  **（手動）** | ○○○**機**  **（○馬力・○条）** | ○○○**機**  **（○馬力・○条）** |
| **製品等価格** | ― | ○○万円 | ○○万円 | ○○○万円 | **○万円** |
| **準備・撤収時間/10a** | ○分 | ○分 | ○分 | ○○分 | **○分** |
| **実作業時間/10a** | ○分 | ○分 | ○○分 | ○分 | **○分** |
| **人件費＋償却費/10a** | ○万＝○○万円 | ○万＋○万  ＝○○万円 | ○万＋○万  ＝○○万円 | ○万＋○○万  ＝○○万円 | ○万＋○万  ＝○○万円 |
| **主に活用されて**  **いる産地・作型及び飼養形態** | ○○県・  ○○栽培 | ○○県・  ○○栽培 | ○○県・○○県  ○○栽培 | ○○県・  ○○栽培 | ○○県・  ○○栽培 |
| **主に活用されて**  **いる経営規模** | 小規模  （○○ha） | 中規模  （○○ha） | ○規模  （○○ha） | 大規模  （○○○ha） | ○規模  （○○ha） |
| ○○○ | ○○○ | ○○○ | ○○○ | ○○○ | ○○○ |
| ○○○ | ○○○ | ○○○ | ○○○ | ○○○ | ○○○ |
| **上記優位性の根拠** | 本研究で開発する○○ロボットは現在上市されている既存製品と比較し、大幅な低価格化が最大の優位性である。既存の製品は○○といった理由よりコストが上がり、販売価格が○○万円を超えるものが多く、普及が進んでこなかった現状がある。一方、本研究で開発する○○ロボットは研究代表者らが研究を進めてきた○○○技術により○○にかかるコストを大幅に削減可能なことか、予定販売価格は○万円と、既存製品の○％以下となる見込みである。  また、本研究で開発するロボットは○○という理由により○○作業が不要であるため、作業者の労働時間既存製品と比較し10aあたり○～○○％削減可能である。 | | | | |

【注釈・留意事項】

○　本項目は既存・類似技術に対し、開発を行う技術がどのような優位性があるかを記載する項目です。

○　左列の比較項目（製品等価格～主に活用されている経営規模）は、黒字の項目は削除せず、必ず記載してください。なお、「主に活用されている経営規模」　以下については新たに比較項目を追加しても構いません。

## **研究の目的（２　審査項目（１）ア）**

本研究は、○○○の開発を行い、○○の品目における○○作業の省力化・省人化を実現することである。一般に○○作業は、○○○○や○○を用いて実施されており、○月から○月までの○か月間に作業が集中する。本研究では、○○技術を活用した○○を開発し、従来○○人時間かかっていた○○作業を○○人時間まで省力化する。

## **本研究で実施する内容及びアプローチ手法（２　審査項目（１）ア・イ・ウ・エ　関係）**

本研究では、○○開発における○○と○○の課題に対して、○○と○○を組み合わせた○○を行うことで、○○の開発を行う。

1. ○○の課題

これまで申請者らは、○○における○○の解決のために、○○可能な○○の開発を行ってきた（参照）。○○は○○○○という特性を有することから、○○時における○○の課題解決において有用であり、本研究における○○の課題についても活用可能であると考える。既に申請者らは、○○の課題における○○○園地のシミュレーション環境をGazeboにおいて構築済みであり、○○時において○○が有効であることを検証している（図○）。

1. ○○の課題

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

以上、○○開発における○○と○○の課題に対して、申請者らがこれまで取り組んできた○○及び○○の技術と今回新たに取り組む○○によって解決し、本研究が目指す1果○秒で△△を行う△△ロボットを開発する。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（４）のつづき

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

また、○○品目以外にも、作物形状や色が類似している○○や○○といった品目や、○○の品種を栽培する他産地にも容易に適用することが可能。

## **本研究成果がもたらす省力化効果等の試算（２　審査項目（１）ア　関係）**

本研究では、○○の農作業における○○技術を開発する。一般に、○○作業には○○が用いられることが多く、その10 aあたりの年間労働時間は○○時間・人である（参照）。○○作業は○○と○○、○○、○○の4作業工程で構成されており、本研究で開発する○○は、○○と○○の2工程に該当する技術である。また、開発する○○は、人が行う○○と○○の工程のうちの2/3を代替するものでる。したがって、本研究成果による10 aあたりの省力化効果は、

となり、○○時間（○○%）の省力化効果と試算される。

【注釈・留意事項】

○　２ページ以内に収まるように、（３）（４）（５）を記載してください。

○　いずれの箇所においても図表を用いながら当該箇所の補足を行っても構いません。

○　（３）は、本研究が開発するスマート農業技術の生産性向上に係る目標を記載してください。

○　（４）は、本研究で実施する研究内容と、その開発方針の合理性について記載してください。また、動作・機能発現に係るアイデアや原理、エンドエフェクタ等の構造など、本研究で実施する研究内容や開発方針の合理性・有効性を十分に示すようにしてください。

○　（５）は、本研究成果がもたらす省力化効果について、客観的かつ定量的に示してください。

# **４　研究計画**

1. **課題構成（２　審査項目（１）カ関係）**

本研究では、①○○の開発、②○○の開発、③開発した要素技術のシステム統合を行う。①及び②では、○○な環境でも○○可能なシステム構築に必要となる○○と○○の技術を開発する。③のシステム統合では、①②の各技術開発への要求仕様やシステム全体設計等を①②の開発に先行して進めることで、個別の要素技術の開発にフォーカスしすぎることを防ぎ、統合したシステムを逐次アップデートしながら良質なプロトタイプの作製を目指す。

（参考）

事業開始時のTRL（とその理由）：○（本技術は○○○を実施するところまで至っているが、○○○は実施出来ていないため）

事業終了時のTRL（とその理由）：○（本研究では、○○○○や○○○の開発により○○○が実施できるステージまで移行することを目標としているため）

表. 研究計画スケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1年目 | | | | 2年目 | | | | 3年目 | | | |
| Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Q1 | Q2 |  |  |
|  | ○○○〇  ○○○〇  ○○○〇 | ○○○〇  ○○○〇  ○○○〇  **小課題①：○○○〇**  ***中課題３：○○の開発***  ○○○〇  ○○○〇  ○○○〇の統合  ○○○〇の設計  **小課題②：○○○〇**  ○○○〇の改良と実証  **小課題①：○○○〇**  ***中課題１：○○の開発*** | ***中課題２：○○の開発***  **小課題①：○○○〇** | **小課題②：○○○〇** | **小課題②：○○○〇** |  | ○○○〇 |  | ○○○〇  ○○○〇  ○○○〇  ○○○〇 | ○○○〇  ○○○〇 | ○○○〇 |

【注釈・留意事項】

○　１ページ以内に収まるように、研究課題全体の構成について記載してください。

○　研究課題ごとの関連や相互関係、律速関係について記載してください。

○　課題進捗が全体進捗に影響を与える可能性がある場合は、対応策についても記載してください。

○　表〇の研究計画スケジュールにすべての中課題・小課題を記載してください。

○　事業開始時と事業終了時におけるTRLの段階については、別紙１１を参照の上、記載してください。

## **実施内容（中課題別）（２　審査項目（１）カ　関係）**

### **中課題１　＜課題名：○○○○、研究型：○○○○、○○○○＞**

#### ア　研究開発の目的及び内容

本研究課題では、○○○○の解決のために、○○○な画像認識AIモデルを構築する。○○の開発には、○○条件下における○○の画像認識が課題である。○○条件下における画像認識タスクにおいては、近年○○を用いたAIモデルが良好な成果を挙げており、本研究が開発する○○においても有用であると考える。○○を用いたAIモデルのFine-Tuningには、○○種類○○枚以上の○○条件下で撮影された画像と教師ラベルが必要である。また、学習には○○PFLOPS以上の計算機で○○GPU時間の学習が必要であるため、申請者らが有する○○を活用して学習を行う。

**（小課題１　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（小課題２　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

#### イ　マイルストーン及び研究計画

##### **令和７年度：**○○認識AIモデルの開発（Precision：○%、Recall：○％）

画像認識AI手法である○○をFine-Tuningし、○○認識AIモデルを開発する。学習には、○○枚の教師画像を用いる。令和7年度中に、○○枚の評価データセットにおいてPrecision：○％、Recall：○％の性能を持つAIモデルを構築する。

**（小課題１　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（小課題２　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

##### **令和８年度：**○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（小課題１　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（小課題２　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

##### **令和９年度：**○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（小課題１　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**（小課題２　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

### **中課題２　＜課題名：○○○○、研究型：○○○○、○○○○＞**

#### ア　研究開発の目的及び内容

**（小課題１）<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

**（小課題２）<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

#### イ　マイルストーン及び研究計画

##### **令和７年度：**

**（小課題１　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

**（小課題２　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

##### **令和８年度：**

**（小課題１　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

**（小課題２　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

##### **令和９年度：**

**（小課題１　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

**（小課題２　<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

### **中課題３　＜課題名：○○○○、研究型：○○○○、○○○○＞**

#### ア　研究開発の目的及び内容

**（小課題１）<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

**（小課題２）<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

#### イ　マイルストーン及び研究計画

##### **令和７年度：**

**（小課題１<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

**（小課題２<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

##### **令和８年度：**

**（小課題１<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

**（小課題２<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

##### **令和９年度：**

**（小課題１<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

**（小課題２<課題名：○○○○、研究型：○○○○、担当機関：○○○○>）**

【注釈・留意事項】

○　中課題ごとに、「ア　研究開発の目的及び内容」及び「イ　マイルストーン及び研究計画」を記載したうえで、ア及びイのR7年度分についてはさらに小課題ごとに記載してください。

○　「イ　マイルストーン及び研究計画」は、定量的かつ客観的な数値目標を設定してください。

○　中課題・小課題数に応じて、分量を増やしていただいて結構です。

○　中課題、小課題ごとの計画及び成果が把握できるよう、記載してください。

○　小課題を設けない場合は、中課題ごとの研究内容を記載してください。

○　研究型には、「①　スマート農業技術に係る研究開発」、「②　新たな栽培方法の確立に係る研究」を記載して下さい。

○　本事業では、原則として外国出張は認めていませんが、委託研究遂行上の必要がある場合は、本欄に記載（出張目的、行き先、（国名・都市名）、期間を明示）してください。

1. **研究課題の構成及び年度目標（各年度）（２　審査項目（１）カ関係）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究項目 | 研究実施機関 | 令和７年度目標 | 令和８年度目標 | 令和９年度目標 |
| １．中課題名を記載 |  |  |  |  |
| （１）小課題名を記載 |  |  |  |  |
| （２）小課題名を記載 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

【注釈・留意事項】

○　研究課題の中課題及び小課題毎に、各年度の目標について、極力数値を記載するなど、「４の（１）課題構成　及び（２）実施内容（中課題別）」との関係がわかるように、具体的に記載してください。

○　中課題順に１．、２．、・・、小課題順に（１）、（２）、・・と番号を付してください。

○　共同研究機関については、研究の効果的・効率的な推進を図る観点から、課題構成と参画機関の役割分担を明確にするとともに、参画機関数は過度に多くならないように配慮してください（１小課題（最小単位の課題）は、原則１機関での分担体制としてください）。

○　各課題において、研究を実施しない年度の項目には、記載しないでください。

## **研究遂行能力（２　審査項目（１）ク　関係）**

### **ア　研究代表者らの研究業績**

【注釈・留意事項】

〈論文〉

「○○○に関する研究」、農林太郎、水産次郎、畜産三郎、○○学会誌、1(1)、20-30(200○)

「Development of novel analysis method for ○○○○」農林太郎、 Gaikokujin A., 林業花子, Gaikokujin B.Journal of Agriculture,1　　(1) 20-30(200○)

※外国語論文であっても、日本人の共著者の氏名は日本語標記としてください。

〈著書〉

「○○の現状」、農林太郎、○○出版社（200○）

〈特許〉

「○○○の製造方法」、特願200○-○○○、出願200○年○月○日

【備考】

・雑誌の場合は、タイトル、著者名、学会誌名、巻（号）、ﾍﾟｰｼﾞ－ﾍﾟｰｼﾞ、発行年（西暦）

・書籍の場合は、タイトル、著者名、出版社名、発行年（西暦）

・著者（共著者）が複数名の場合は本人の名前にアンダーラインを付してください。

・特許の場合は、特許名、特許番号、取得又は出願年月日（西暦）の順に記載してください。

・製品として市販化等をしている場合は、製品情報が分かるカタログ等のウェブページのURL

### **イ　研究環境（研究遂行に必要な設備等）**

　　本研究は、特に○○○に関する研究がコアとなっている。その研究のためには、○○や○○といった機器が必要となるが、共同研究機関である○○○において、過年度「○○○○○」を取得している。この「○○○○」のスペックは○○○○となっており、本研究で必要となる機能を備えている。また、○○○については、○○○の作製が必要となるが、協力機関の○○○○と連携し、共同研究機関の○○○○の設計に基づき、○○日で作製できるような体制を構築している。

## **（５）特記事項（該当ある場合）**

### **特にスマート農業技術の価格低減につながる研究内容（２　審査項目（１）オ　関係）**

本研究において開発をすることとしている○○については、一般的に○○○といった構造をしている。○○○といった構造は、特に○○○と○○○、○○○といった部分が製造コストを占め、また、製造に係る○○○○といったコストも大きい。このことから、本研究では、中課題○の○○○について、○○○という手法でコストダウンを図ることで、○％の製造原価を圧縮できる。また、○○○の開発により、一般的に必要な○○○といった工程が省かれることで、コスト低減に資することになる。上記を踏まえると、○％程の価格低減につながる可能性があり、本項目に該当する。

## **（６）既存・類似研究の説明（２　審査項目（１）ウ・エ　関係）**

### **ア　既に国の研究資金で着手されている若しくは類似の研究があるか（研究グループを構成する者以外を含む）**

|  |  |
| --- | --- |
| **選択した公募対象技術の内容について以下を記載してください（必須）** | |
| 既存の研究資金との  類似の確認（選択し、○をつける） | 類似がないことを確認した（　）  取り組む課題と類似がある（　）  ※類似課題がある場合、下の欄も記載してください。 |
| **既存の研究資金との類似がある場合は以下も記入** | |
| 研究資金名  （選択し、○をつける。複数可） | （　）戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第２期  　３「農業生産のスマート化」  （　）国際競争力強化技術開発プロジェクト  （　）戦略的スマート農業技術（等）の開発・改良、次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化、スマート農業技術の開発・供給に関する事業  （　）その他の国の研究資金   * 例示した３つの研究資金以外でも類似の研究課題がある場合は、その他に○をつけて以下に詳細を記入してください。 |
| 研究課題名 |  |
| 異なる点  ※　300文字以内で記載 |  |

### **イ　（該当する場合）「戦略的スマート農業技術（等）の開発・改良」、「次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化」又は「スマート農業の開発・供給に関する事業」において不採択となった課題を含み再提案するか**

　　（ア）不採択通知の指摘事項への対応

|  |  |
| --- | --- |
| 不採択通知の指摘事項 | 指摘事項への対応状況 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

　　　（イ）不採択通知の指摘事項以外の前回の応募時との相違点

|  |  |
| --- | --- |
| 相違点 | 相違内容 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

【注釈・留意事項】

○（６）イは、これまで公募のあった「戦略的スマート農業技術等の開発・改良」、「次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化」又は「スマート農業技術の開発・供給に関する事業」において不採択となった内容で応募する場合は、前回の応募との違いや修正点を明示的に記載するとともに、提案書の記載箇所の頁も記載してください。

# **５　本研究に関連するスマート農業技術活用促進法における開発供給実施計画**

## **当該開発供給実施計画の概要**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

## **本研究と当該開発供給実施計画との関連（１　必須項目　（２）関係）**

当該開発供給実施計画では、①○○の開発、②○○の開発、③○○の開発・実証を計画しており、その開発供給事業のスケジュールは表○のとおりである。

本研究計画期間は3年間であるため、当該開発供給事業における①○○の開発、②○○の開発、③○○の開発・実証に係る研究開発を計画している。

表. 開発供給事業のスケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １年目 | | | | ２年目 | | | | ３年目 | | | | ４年目 | | | | ５年目 | | | |
|  | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
| 開発計画 |  |  |  | 1. ***○○の開発*** |  | 1. ***○○の開発*** |  |  |  |  |  |  | 1. ***○○の開発・実証*** |  |  |  |  |  |  |  |
| 供給計画 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1. ***販促活動*** |  |  | 1. ***生産委託開始*** |  |  |  |

# **６　供給関係**

※「６　供給関係」については、本委託事業で直接実施する内容ではなく、あくまで開発等を実施した後の供給に係る記載

## **（１）開発等する製品等の内容及び供給方法（２　審査項目（２）イ関係）**

### **ア　機能・スペック**

○○○○○○○○

### **イ　供給方法**

開発した技術を用いた自動収穫ロボットを□□社に生産委託し、自社の販売網を活用して○○県及び▲▲県で販売する。また、サービス事業者として自動収穫ロボットを用いた収穫作業サービスを提供する法人を新たに設立し、機械購入が困難な経営体を主な対象としてサービスの提供を行う。

## **（２）当該製品等の供給の役割分担**

**ア　製造**

○×社

**イ　販売・サービス提供**

×△社

**ウ　アフターフォロー**

△○社

## **（３）当該製品等の普及需要性**

### **ア　販売・サービス提供を計画している品目・地域（２　審査項目（２）ア　関係）**

○○：○○県、○○県

### **イ　（該当する場合）ア以外に適用可能な品目・地域（２　審査項目（１）イ、（２）イ　関係）**

△△：▲▲県、▲▲県

××：✖✖県

### **ウ　上記の地域における需要性の根拠（２　審査項目（２）ア　関係）**

本研究で開発する技術は、○○県における○○という課題や、▲▲県における▽▽の課題に対し、・・・の点で有効である。また、本技術の導入を想定する○○県の○○作型は○ha（○経営体）程度（令和×年度××統計）であることから、普及が見込まれる。

## **（４）農業経営改善効果（供給するスマート農業技術の品質面・費用面での優位性）（２　審査項目（２）ウ　関係）**

開発した製品は○万円（付属品含む）で販売予定。○ha規模の農園の場合、一般的に収穫に係る人件費は○○○万円/年（○人×■時間/年×▲円（時給））であるが、当該自動収穫ロボットを導入することで、作業時間の６割が削減できるため、自動収穫ロボットを導入した場合の収穫に係る人件費の削減効果は■■■万円/年（＝○○○万円/年×６割）となり、製品価格○万円以上であることから、機械メンテナンス等のランニングコスト◆円を考慮しても、慣行的な方法と比較して○万円コストを低減することが可能となり、費用面で優位性がある。

## **（５）事業の継続性（経済合理性）（２　審査項目（２）エ　関係）**

製品の生産原価は○万円の見込みであり、これを○万円で販売するため、一製品あたりの利益はおよそ○万円となる。販売台数目標は、１年目○台、２年目○台、・・・５年目○台を計画しており、年額の売上総利は、１年目○万円、・・・５年目○万円となる見込み。開発・供給に係る費用としては、供給設備の設備投資額約○万円、減価償却期間を○年とすると毎年の減価償却費は約○万円であり、これに開発と販売に係る固定費○万円、生産委託費○万円、人件費等○万円を加え、毎年約○○万円を見込んでいる。その結果、３年目から黒字化できると見込みであり、３年目以降は毎年○万円の利益が見込まれるため、経済合理性がある。

# **７　参画要件等確認事項**

## **（１）要件確認**

以下の項目を確認し、チェック欄に○を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 確認項目 | チェック欄 |
| ア　公募要領４　応募要件・留意事項（一般要件等）及び５　応募要件等（固有要件等）に定める要件を満たしていないと判断された場合は、審査対象となりません。また、採択課題として決定された以降も、要件を満たさなくなった際には、採択取消しや契約破棄になる場合があることについて、了解し同意します。 |  |
| イ　公募要領の別記（６）の記載の内容について、了解し同意します。 |  |

## **（２）スマート農業技術活用促進法における開発供給実施計画に係る事項**

## **（１　必須項目（１）　関係）**

本事業に応募する場合は**必須です。**

事前相談等の実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 営農類型 | 申請者（代表者） | 申請状況 |
| 果樹 | 農林三郎 | 事前相談中 |

## **（３）ポイント加算による優遇措置への対応***（該当研究課題のみ記載）*

**ア　みどりの食料システム戦略の推進**

**みどりの食料システム戦略（～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現）**

**（公募要領７（３）ア参照）（２　審査項目（３）ウ　関係）**

【注釈・留意事項】

○　該当する内容に対応する、本提案書における関連記載箇所を全て簡潔に明記してください。記載がない場合、ポイントが加算されないことがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| みどりの食料システム戦略の取組 | | 該当箇所 |
| 資材・エネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進 | 持続可能な資材やエネルギーの調達 |  |
| 地域・未利用資源の一層の活用に向けた取組 |  |
| 資源のリユース・リサイクルに向けた体制構築・技術開発 |  |
| イノベーション等による持続的生産体制の構築 | 高い生産性と両立する持続的生産体系への転換 |  |
| 機械の電動化・水素化等、資材のグリーン化 | ４研究計画の（２）実施内容の中課題１に記載ある○○○の部分 |
| 地球にやさしいスーパー品種等の開発・普及 |  |
| 農地・森林・海洋への炭素の長期・大量貯蔵 |  |
| 労働安全性・労働生産性の向上と生産者のすそ野の拡大 |  |
| ムリ・ムダのない持続可能な加工・流通システムの確立 | 持続可能な輸入食料・輸入原料への切り替えや環境活動の推進 |  |
| データ・AIの活用等による加工・流通の合理化・適正化 |  |
| 長期保存、長期輸送に対応した包装資材の開発 |  |
| 脱炭素化、健康・環境に配慮した食品産業の競争力強化 |  |
| 環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進 | 食品ロスの削減など持続可能な消費の拡大 |  |
| 消費者と生産者の交流を通じた相互理解の促進 |  |
| 栄養バランスに優れた日本型食生活の総合的推進 |  |

### **イ　地域金融機関等がコンソーシアムに参画し、専門的な助言等を実施する研究課題**

### **（公募要領７（３）ウ参照）（２　審査項目（３）ウ　関係）**

|  |  |
| --- | --- |
| 法人名 | ○○銀行株式会社 |
| 代表者名 | ○○○○ |
| 法人番号 | 13桁の番号 |
| 設立年月日 | ○○○○年○月（西暦で記入） |
| 住所 | ○○○○○○ |
| 電話番号 | ○○-○○○○-○○○○ |
| 金融機関ＨＰ ＵＲＬ | https・・・・ |
| 取組内容 |  |

【注釈・留意事項】

○　電話番号：代表電話番号もしくは連絡先電話番号を記入してください。

○　取組内容：研究実施計画に記載されている研究・検証等の内容や役割分担を明確に記載してください。

**ウ　マッチングファンド**

該当がある場合は提案様式の２（５）全体研究費　に記載してください。

## **（４）農業データ連携基盤（WAGRI）への実装**

ア　研究計画に、営農支援のためのプログラム開発（公募要領８（２）参照）を含むか否かについて○をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 確認事項 | チェック欄 |
| 営農支援のためのプログラム開発を含む |  |
| 営農支援のためのプログラム開発を含まない |  |

イ　アで営農支援のためのプログラム開発を含むを選んだ場合、事業終了時までに当該プログラムを民間企業等が利用しやすい API により農業データ連携基盤（WAGRI）に実装することが必要となります。以下にWAGRI実装に係る提案書上の記載箇所（記載例：提案様式の４　研究計画（２）下線部 など）もしくはWAGRI実装ができない理由を明記してください。

|  |
| --- |
|  |

**別記様式１　参画機関の知的財産への取組状況等***原則Ａ４用紙３枚以内・必須*

１．各参画機関における、知的財産方針等の知的財産の管理に関する方針の有無

※　当該項目については、各参画機関が知的財産の管理に関する方針等を定め、その方針等に基づいて知的財産の管理を行っているかを確認させていただくものなので、各参画機関の知的財産の管理に関する方針等を定めている場合は、○印を記入し、内容について記載してください。

なお、開発・供給支援機関については、実際に研究開発を行わないことから記載は不要とします。

|  |  |
| --- | --- |
| 管理方針  の有無 | 知的財産方針等の知的財産の管理に関する方針の内容 |
| （記載例）  **○** | （記載例）  参画機関○○「有」：○○知的財産方針  参画機関○○「有」：知的財産に関する基本方針  参画機関○○「無」 |

２．各参画機関における知的財産部門や担当官等による管理体制の有無

※　当該項目については、各参画機関における知的財産の管理体制について確認させていただくものなので、各参画機関の知的財産の管理体制を定めている場合は、○印を記入し、内容について記載してください。

なお、開発・供給支援機関については、実際に研究開発を行わないことから記載は不要とします。

|  |  |
| --- | --- |
| 管理体制の有無 | （記載例）　**○** |
| 管理体制の内容 | （記載例１）  参画機関○○「有」  知的財産全般の管理を行う知的財産部を設置し、担当○名により管理  参画機関○○「有」  ○○課に知的財産の管理等を行う者を配置  　参画機関○○「有」  ○○長が一括管理（適宜、外部弁理士等に相談）  　参画機関○○「無」  （記載例２） |

３．知的財産の実施許諾

※　研究成果による知的財産を活用した企業化を一層促進する観点から、知的財産の取得後、広く実施許諾できるようにする方針があれば記載してください。

|  |
| --- |
| （記載例）  本事業で得られた研究成果のうち、○○○を用いた○○○技術については特許化を行うが、本技術を各産地で広く普及させるために知的財産の取得後５年後を目途に広く実施許諾できるようにする予定である。 |

研究グループの構成員として参画している研究機関等が、当知的財産の実施許諾を確認し、同意している場合は、以下の様式に○を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 当知的財産の実施許諾は、研究グループの構成員として参画している研究機関に内容を確認していただき、同意を得ています。 |  |

**別記様式２ 情報管理実施体制について***必須*

　情報管理実施体制

|  |
| --- |
| （記載例）  【研究代表機関：○○○○○○】　　　　　　【共同研究機関：○○○○○○】  　情報管理統括責任者　　　　　　　　　　　　　情報管理責任者  　　役職：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　役職：○○○○  　　氏名：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　氏名：○○○○  　情報管理責任者　　　　　　　　　　　　　【共同研究機関：○○○○○○】  　　役職：○○○○　　　　　　　　　　　　　　情報管理責任者  　　氏名：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　役職：○○○○  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名：○○○○  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【共同研究機関：○○○○○○】  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　情報管理責任者  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　役職：○○○○  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名：○○○○ |

※　適切な体制が整うのであれば、情報管理統括責任者及び情報管理責任者は、研究代表者（研究分担者）と同一の者でも構いません。

**別記様式３　研究管理運営機関を活用する理由書** *Ａ４用紙１枚以内・該当研究課題のみ提出*

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 課　題　名 |  | | |
| 代表機関名 |  | 研究代表者名 |  |
| 研究管理運営機関名 |  | 研究管理運営機関の責任者名 |  |

・研究管理運営機関を活用する理由

※　本事業では、生研支援センターが必要と認めた場合に限り、研究代表者が所属する研究機関等（研究グループで応募する場合は代表機関）とは別に、生研支援センターとの委託契約業務や経理執行業務を担う機関（以下「研究管理運営機関」という。）を設置できるものとします。

［研究管理運営機関を設置できる場合］

・地方公共団体において、研究の実施に当たって事前に予算措置を要する等の特殊性を考慮し、地方公共団体に所属する研究者が研究代表者となる場合であって、かつ、地方公共団体に経理責任者を配置することが困難と認められる場合

・研究代表者が所属する組織やコンソーシアムの構成により、委託契約の締結が著しく遅延するおそれがあると認められる場合

これは、特例措置であることから、本様式に、代表機関が国と委託契約を締結することが困難な理由を明確に記載してください。

　　また、本様式を提出するにあたっては、必ず都道府県又は中小企業等の財政担当部長等の了承を得るとともに、財政部局担当者の連絡先（担当者氏名、所属部署、役職、電話番号及びE-mailアドレス）を記載してください。

令和○○年○○月○○日

代表機関の財政担当責任者

|  |  |
| --- | --- |
| 担当者の連絡先 | |
| 担当者氏名 |  |
| 所属部署 |  |
| 役　　　職 |  |
| 電話番号 |  |
| E-mail |  |

**別記様式４　研究支援者の情報等***Ａ４用紙２枚以内・該当研究課題のみ提出*

1. 研究支援者の情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | ○○　○○（ふりがな） | 年齢 | ○歳 |
| 所属・役職 | 公益社団法人○○○○　○○支援コーディネーター  ○○機構　○○マッチングプランナー | | |
| 国との関係 | 農林水産省産学連携支援事業コーディネーター  JST○○コーディネーター | | |

　※　所属・役職については、役職の括弧書きに、主体となる機関名を記載してください。

※　国との関係は、国で行っている事業等において支援を行っているものについて記載してください。

（２） 経歴

|  |
| --- |
| ○　年3月、○○機関において、○○に従事  ○　年6月、○会社と○法人○○と商品開発のマッチングを実施し、開発された商品が○年3月より販売開始  ・・・ |

　※　これまで従事した業務や、コーディネート・マッチングした実績やマッチング等によって研究成果を活用した製品が開発され実施された実績等を具体的に10事例以内で記載してください。

**別記様式５　データマネジメントプラン***該当研究課題のみ提出*

本事業では、公募要領別紙７のとおりデータマネジメントに係る基本方針を定めておりますので、基本方針に基づきデータマネジメントプランを作成してください。

**（注）データマネジメントプランは、pdf化の上、応募様式（研究課題提案書）と一緒（結合）に、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）へアップロードしてください。**

**※「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン」について**

*該当研究課題のみ提出*

|  |
| --- |
| 農業現場で農業関係者がスマート農機（トラクター、コンバイン等）、ドローン（ほ場の情報を扱うもの）、農業ロボット（搾乳ロボット等）、ＩｏＴ機器（環境制御施設、自動給水栓、飼養管理機器等を含む）等を利用することで生じるデータ等（画像やノウハウを含む）をスマート農業関連の製品・サービス提供事業者が受領・保管する場合、「農業分野におけるＡＩ・データに関する契約ガイドライン」（令和２年３月農林水産省作成）に示す留意事項に配慮した上で、契約条項例を参考として契約を行う場合には、当該様式の別添「データマネジメントプラン」の一番右欄に「○」を記載してください。 |

※　審査の結果、委託先候補となった場合は、契約締結までに**「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン（以下、ガイドライン）」**に準拠したデータ提供等の契約を相手の農家等と締結してください。

また、契約内容がガイドラインに準拠していることを確認したチェックリスト（公募要領別紙６）と、契約先の農家等に契約内容を説明し、同意を得て契約した旨を記載した同意書をセットで保存してください。当該チェックリストと同意書は生研支援センターが提出を要請する場合には提出してください。

なお、要請に基づき提出されない場合、あるいは作成されていない場合、委託契約書に基づき、契約の打ち切りと委託費の返還となることに留意してください。

**別記様式６　オープンＡＰＩの要件化に係る確認事項***該当研究課題のみ提出*

トラクター、コンバイン又は田植機の導入等を希望する場合は、以下の「参考」を御確認の上、希望する農機のメーカーの状況についてチェックを入れてください。

・　導入を希望する農機のメーカーが、自社 web サイトや農業データ連携基盤への表示等を通じて、データを連携できる環境を

□整備している　　　　　 □整備していない

（参考）

APIを自社webサイトや農業データ連携基盤への表示等を通じて、データを

連携できる環境を整備している農機メーカー

（令和６年10月時点農林水産省調べ、五十音・アルファベット順で記載）

国内メーカー：井関農機株式会社、株式会社クボタ、三菱マヒンドラ農機

株式会社、ヤンマーアグリ株式会社

海外メーカー：AGCO Corporation(Fendt、MASSEY FERGUSON、Valtra）、

CLAAS KGaA mbH、CNH industrial N.V（Case IH, New Holland, Steyr）、

Deere & Company(John Deere)、SDF group(SAME、DEUTZ-FAHR、Lamborghini)

※１ 「整備していない」にチェックがついた場合は、採択が決定した際に、整備しているメーカーの農機に変更いただくか、導入を希望する農機でなければ事業目的を達成できない旨を別途証明いただく等の対応が必要になりますので、ご承知おきください。

※２ なお、「整備していない」にチェックをした場合でも、導入を希望するトラクター、コンバイン、田植機のメーカーが農機データを取得するシステムを備えた製品を製造していない場合は、メーカーの変更等の対応は不要です。

**別記様式７　研究活動の不正行為防止のための対応***必須*

※　以下の誓約書を提案様式に添付（pdf化し、結合）して提出してください。

※　最新の委託業務事務担当者説明資料の動画については、研究代表者が下記のサイトから視聴してください。

　　https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/contents/common\_form/index.html

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

生物系特定産業技術研究支援センター所長　殿

研究倫理に関する誓約書

令和７年度予算　「スマート農業技術の開発・供給に関する事業」の応募にあたり、「農林水産省所管の研究資金に係る研究活動の不正行為への対応ガイドライン」（平成18年12月15日付け18農会第 1147号農林水産技術会議事務局長、林野庁長官及び水産庁長官通知）を遵守いたします。

なお、最新の委託業務事務担当者説明会資料の動画については、視聴し、これらの内容について、遵守することを誓約いたします。

令和 年 月 日

研究グループ名（コンソーシアム名）

代表機関名

研究代表者名